

氷見伏木信用金庫の

2023年度

SDGs活動報告

当金庫役職員全員が共通の認識を持って課題に取り組み、解決に向けた具体的な活動をするにより、当金庫だけでなく、総代の皆さま、お取引先先の皆さま、さらには地域におけるステークホルダーの皆さまにもSDGsを広げ、地域全体で持続可能な社会の実現に向け活動を行っています。

地域創生に向けた取組



地域活性化に向けた活動に積極的に取り組んでいる長坂地区の棚田オーナー制度の田植え・稲刈りに参加しました。

JR氷見線応援委員会へ参画し、忍者ハットリくん列車と駅構内の清掃活動に参加しました。



氷見市の景観まちづくり実証イベント「Himi Sweet Sunday」に参画し「プランターづくり&花植えのワークショップ」を開催しました。



金融仲介機能の強化



取引先に各種補助金等の支援制度を紹介し、令和5年度は80件の申請支援を行ったほか、経営力向上計画や先端設備導入計画等の作成支援も行いました。



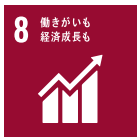
事業承継を円滑に進めるための支援として、中小機構と連携し10件の個別相談を行いました。

人材育成



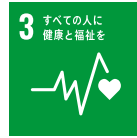
地元の高校へ職員を講師として派遣し、「氷見市の金融事情と金融機関の役割」について講義を行いました。

市政への思いを議会体験を通して提案する「氷見まちづくり議会」に職員1名が参加しました。



「アスリート採用」を行い、日本ハンドボールリーグで活躍する選手のキャリアをサポートしています。

顧客保護



南部支店にAEDを設置し、職員に使用方法についての研修を行いました。

年金ファン感謝デーにおいて、お客さまの特殊詐欺被害防止のため注意喚起を行いました。



市民の利便性向上のため氷見市役所にATMを設置しました。

コスト管理



通帳アプリキャンペーンを実施し、通帳レス134口座獲得。3月末現在通帳レス口座は817口座となりました。



環境問題の取組みの一環として、通年ノーネクタイで就業しました。



地域全体で、持続可能な社会の実現に向け活動を行ってまいります。